



第14回日本アクセス研究会学術集会・総会

The 14th Annual Meeting of the Japanese Society of Dialysis Access

— 職種を超えたアクセス管理の実践を目指して —

会 期 2010年 10月29日(金)～31日(日)

会 場 山梨県富士ビューホテル
山梨県南都留郡富士河口湖町勝山511

理 事 長 大平整爾 札幌北クリニック 院長

大 会 長 深澤瑞也 山梨大学医学部

YAMANASHI

以前からCAPD出口部管理に取りくん
でこられた、フラザ透析センター 渡邊
師長が、日本アクセス研究学会ワーク
ショップ看護師部門の代表で講演され

10月31日(日)

第14回日本アクセス研究会学術集会・総会		
第一会場	第二会場	ポスター会場
07:00		
08:00		
09:00		
10:00		
11:00		
12:00		
13:00		
14:00		
15:00		
16:00		
モーニングセミナー 共催/ニプロ株式会社		
ワークショップ1 「知っておきたいVA/VT時の放射線防護」	一般演題 9	
ワークショップ2 「PD出口部管理の実際」	一般演題 10	
教育講演2 「長期留置型カテーテルの挿入・維持・管理」	一般演題 11	ポスター発表3 (非発表型)
	一般演題 12	
ランチョンセミナー2 共催/テルモ株式会社	ランチョンセミナー3 共催/協和発酵キリン株式会社	
JSDA総会 太田和夫先生追悼講演		
ジョイントシンポジウム 共催/超音波VA研究会	一般演題 13	
ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社	一般演題 14	

共催
第14回日本アクセス研究会学術集会・総会
In 山梨
株式会社ジェイ・エム・エス



2010 年

10/31 (日)

9:50~10:50

山梨県富士ビューホテル
第一会場



ワークショップ2

「PD 出口部管理の実際」



座 長

「PD出口部管理について」

大誠会 理事長

松岡 哲平 先生



演 者

「内科医が診るPDカテーテル出口部」

豊島中央病院 院長

田村 博之 先生



演 者

「PD出口部異常に対する外科的処置のポイント」

医療法人医真会八尾総合病院 泌尿器科 副院長

岩井 哲郎 先生



演 者

「PD出口部管理において看護師・患者・医師の連携」

医療法人康仁会西の京プラザ透析センター 看護師長

渡邊 美智子 先生



— 抄 録 —

PD 出口部管理における看護師の役割

医療法人康仁会 西の京病院

○渡邊美智子 吉岡伸夫 高比康臣

当院では、3名のPD専任看護師が23名のPD患者を担当している。専任看護師は、保存期腎不全患者の透析相談やPDを選択した患者の導入前からの指導・教育を一貫して継続的に行っている。PD出口部管理においては、カテーテル留置時の出口部の位置確認や術後の創傷管理の実際、患者への出口部ケア教育から出口部トラブル時の対応までを専任看護師が中心となって活動している。

これまでの出口部ケアは、医師の指導のもとに消毒を基本とした創傷ケアを実施していた。最近は、医師の了解のもとにスキンケアの概念を用いた新しい出口部対策を行っている。当院では、さらにCAPD3段階導入で出口部感染の予防を目指している。

そこで今回は、PD出口部感染の予防目的に、新しく実施しているCAPD3段階導入と出口部ケアを紹介する。

CAPD3段階導入とは、段階的導入法(SMAP)に準じて、皮下にカテーテルを埋没する(埋没期)。カテーテルを皮下より取り出し、シリコン栓で閉鎖したままフィルムで皮膚面に固定し、創傷治癒を促進させる(固定期)。出口部安定後、接続チューブをつけてPDを開始する(導入期)。固定期はカテーテルと出口部をフィルムで完全に密封しているので術後すぐにでもシャワー浴ができる。また、患者がこれまで行っていたガーゼ交換もない。導入期には出口部が安定しているので、消毒やガーゼ保護はしない。シャワー洗浄によるスキンケアと専用のスポンジ枕による固定のみとしている。

以上のCAPD3段階導入や出口部ケアは看護師主導で行っている。これまで、医師の理解と協力のもとにPD導入前の指導から導入後のPD処方などにも関与してきたが、特に出口部管理は、感染の予防に伴うケアが中心となることから、今後もPD看護師の活躍に期待したい。